

テーマ
異分野
参入

株式会社中原醤油店

湯梨浜町商工会(支援した経営指導員：小林 祥樹(前担当)、田中 文(現担当))
所在地：鳥取県東伯郡湯梨浜町泊697-1 (醤油店)
鳥取県鳥取市気高町北浜 3 丁目17 (釣具店)

代 表 者：原田 生士
創 業：1917年
業 種：その他の調味料製造業、スポーツ用品小売業
事 業 内 容：醤油製造、釣具販売

支援内容

1917年に開業以来、こだわりのある醤油を製造してきた老舗企業。近年、家庭向け醤油市場は縮小傾向にあったことから、単一事業に依存する経営から脱却するべく、釣具店の開業にかかる相談を受けた。そこで、開業に必要な資金について、「2023年度鳥取県産業未来共創事業補助金（新たな企業価値創造型）」の活用を案内。補助金の交付にあたって補助金入金までのつなぎ資金が必要となったため、マル経融資を提案し、事業計画の策定支援等を実施した。必要資金を確保し、2024年3月15日に予定通り釣具店「Splanade (エスプラネード)」をオープン。オープンから現在まで、従業員の雇用やネット販売にかかる支援などを実施している。



支援成果

釣具店オープン後の売上は好調で、目標値を上回る成果を上げており、「原田社長から話を聞いて買いたいから」と来客が途絶えない店になっている。特に、Instagram等を使い集客を行っており、売上の構成は、県内外のお客様、また海外のお客様等、広域からの集客に成功していることがうかがえる。



店内



カフェスペース

事業者 の声

既存の醤油製造業も伸ばしつつ、新たなビジネスの柱として弊社の得意な分野での新規事業を目指し、釣具店をオープンしました。マル経融資は何度か利用したことがあったため、商工会様に融資の相談をさせて頂いた後は、事業計画の策定から全てにおいてスピーディー、尚且つ、親身になって対応いただき、大変助かりました。弊社が元々、釣具店様、アングラー様向けに販売している「イカの沖漬け醤油」は、「海」や「釣り」というテーマを持つ点で、今回新たに始めた釣具店事業と共通しています。その共通点を活かし、海と釣りが好きだからこそ挑戦できる新たな事業の切り口として、お客様と一緒にワクワクできるようなショップを目指していきたいと思っております。



原田代表 (右) と奥様 (左)



イカの沖漬け醤油

支援した 経営指導員 の声

原田社長は、「日本一釣り好きな醤油屋」として、既存事業に釣りの要素を取り入れてきました。釣具店という新たな事業に挑戦したことは、単一事業からの脱却を図った好事例と言えます。釣具店の開業は、社長自身の長年にわたって培ってきた様々なご縁もあり実現できましたが、多額の設備投資が必要となる中、つなぎ資金としてマル経融資を活用したことも大きな後押しとなりました。今回の支援を通じて、事業所の強みを最大限に引き出し、新たな可能性を広げることの重要性を再認識しました。これからも、原田社長のように、自身の得意や情熱を活かし、新しい事業に挑戦する事業者を積極的にサポートしていきたいと思えます。



釣具店 (湯梨浜町商工会 小林指導員 (右)、原田代表 (中央)、田中指導員 (左))

原商店

天城町商工会（支援した経営指導員：狩集 大）
所在地：鹿児島県大島郡天城町兼久大字1206-1

代 表 者：原 達治
創 業：1960年 3 月
業 種：小売業
事 業 内 容：各種飲食料品の小売販売

支援内容

徳之島天城町において業歴60年超の小売業を営む。昨今の少子高齢化や過疎化により年々売上は減少、売上増加や新たな事業展開を模索していた。そんな折、宿泊兼飲食業を営む事業者が廃業を検討しており、代表者へ事業買収の相談があった。代表者はアイデアマンで色々な事業の多角化を検討していた。近隣の宿泊施設が事業主の高齢化により減少している一方で、観光客は年々増加しており宿泊施設が不足しつつある状況から、事業の好転を確信して、日頃より情報交換や支援を受けている商工会へ相談。商工会では、事業としての実現可能性を見極めるために熱心な伴走支援を行い、事業計画や返済計画を策定。そして、事業買収に日本政策金融公庫のマル経融資2,000万円を活用した。



店舗外観

支援成果

事業買収に係る事業計画策定によりキャッシュフローも安定。商工会にて金融支援から買収までの諸手続き（許認可申請等）のサポートを一気通貫で支援。2025年6月に事業買収が成立し、新事業に乗り出すことができた。地元島民のサロン（憩いの場）として利用されはじめ、併設する宿泊所はオーシャンビューという付加価値もあり、来年度以降の予約も埋まり始めている。さらに、1室を複数年単位で賃貸借したいという問い合わせがある等、利用ニーズはさらに拡大しつつある。



経営指導を受ける事業主の原様（左）と
天城町商工会 狩集指導員（右）



店内風景

事業者 の声

次年度には地元チェーン店の進出が計画されており、これまでの小売業だけでは事業の先細りを危惧していました。商工会等を通じて様々な角度からアンテナを高く張っていたところ、折よく新たな事業に展開できる機会を受け、同時に日頃から情報提供等をしていただき信頼している商工会の指導員にも支援をいただくことができました。無事に取引が完了しましたが、まだまだこれからが本当のスタートだと考えています。年間収支が計画を上回るよう、商工会の指導を受けながら更なる付加価値を付けて軌道に乗せていきたいと思えます。他にもたくさん計画していることがあるので、商工会に相談しながら事業を拡大していきたいです。



事業主の原様

支援した 経営指導員 の声

買収先の事業主は高齢を理由に廃業を検討していました。新たな事業主とのマッチングにより、買収先においては第三者による事業承継、買収元においては新事業展開を具現化することができ、過疎化が進む徳之島において、地元経済の維持・発展に役買うことができたのではないかと考えています。

普段から、事業者の相談に対しては「NO」と言わないようにしており、どうしたら実現できるかを考えて経営指導を行っています。本件についても事業買収という困難な相談ではありましたが、新規創業と事業承継は地域経済の新陳代謝を推し進めるうえでは両輪です。無事に実現まで漕ぎ着けることができたことを支援者としても喜ばしく思っています。これからも情報を一つでも多くキャッチし、スピード感をもって支援活動に取り組んでいきたいと思えます。経営指導員の業務は「やりがい」と「使命感」だと考えています。特に、この「使命感」を原動力に、これからも事業所にしっかりと伴走した支援に励んでいきたいです。